

まえがき

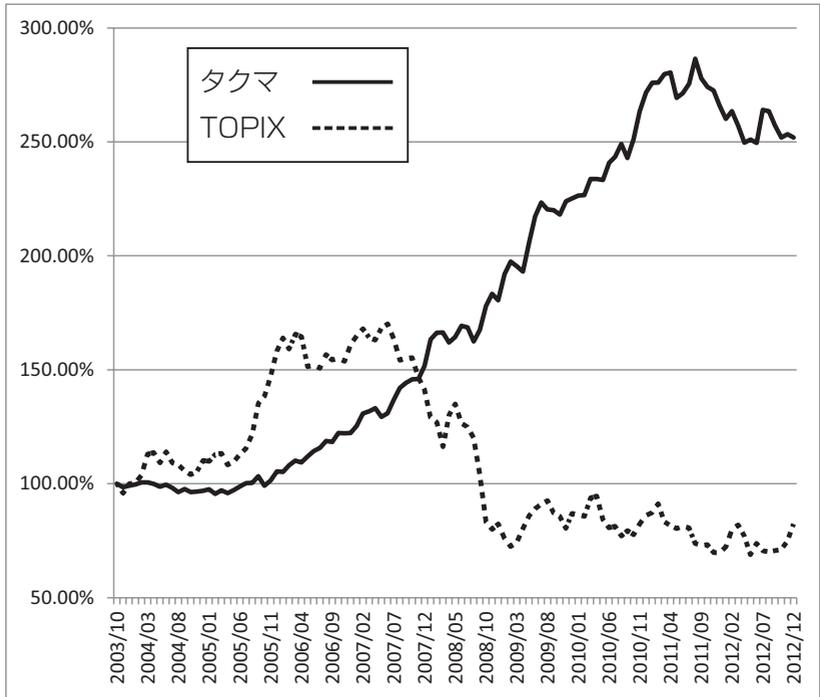
「6」をお届けする。

どんなに頑張っても2巻が関の山だったこのオレが、この『パチンコトレーダー』に限っては、6巻を出すことになったのだ。いきなり6巻からぽんと出たわけではなく、ちゃんと1〜5巻が出たうえで、6冊目としての6巻だ。6冊も単行本が出たのだ。そのうちの4冊はこの半年くらいの間に立て続けに出た。怒濤のような日々だった。漫画の出来映えはともかく、株を一生懸命やってきたことだけは買われたということだろう。

1冊あたり2年分だから、12年分の取引を記録し続けてきたことになる。このような漫画は、世界的に見ても希有だろう。もしかして唯一無二かも知れない。もはやギネス級だ。これもひとえに読者の皆様と関係者の方々のおかげだ。詳しくは、あとがきにてまとめて感謝する。

自分自身のことを言えば、ここまで続けてこられたのは、「生き延びる」ことを最優先して相場を張ってきたおかげだ。一瞬で儲けようとか、目立とうとか、そういう気持ちを抑えて、分相応の投資を行ってきたことだけは自慢できる。読者に何か参考になる点があるとすれば、そのところだけであって、あとのことはすべて枝葉末節であると言っても過言ではない。

2003年11月～2012年のタクマ資産vsTOPIX（元本を450万にした以降）



さて、本巻の内容。

前巻から引き続き、大停滞期の中にある。時代はアベノミクス真つただ中、株高に浮かれ騒ぎ、大儲けする人が続出するのに……。忸怩たる思いである。どうすれば脱出できるのか、そのことばかり考えているが、なかなか光は見えない。

一方、有名億トレーダーがこの作品の愛読者であることがわかり、会って話をする機会を得る。会談後、刺激を受けたのはオレよりむしろ家族のほうで、追及が厳しくなる。10億10億と、毎月の生活費をひねり出すのもギリギリのこのオレに催促するのである。

オレとしても、いつまでもふらふらと停滞しておらず、いくら何でももう

2003年11月～2012年の日経平均の推移



そろそろ、めざましい成績を残さねば
ならないと思っている。そうすること
が、家族や出版社、そして読者の皆様
への何よりの恩返しになるだろう。
もし次巻が出るとすれば、そこでは
そうなっているよう、死にものぐる
いで努力する所存である。

2015年4月

坂本タクマ